

## 勇気ある人命救助の 8名に感謝状

川に転落した男性を救助したとして、5月22日、小梨和之さんと富谷亮さんに角田消防署長から、感謝状が贈呈されました。

2人は、4月15日、丸森町耕野高原地内で道路から阿武隈川に転落する車を目撃し、運転手の男性を川から引き揚げ、救助を行ったものです。

また、7月29日、住宅火災から男性を救助したとして、大沼竜也さん、佐藤正春さん、三品貴史さん、千田杜志也さん、増田一記さん、田澤義明さんの6名に大河原消防署長から感謝状が贈呈されました。

6名は、7月4日に大河原町宇町地内で発生した住宅火災を早期に発見、迅速に消防へ通報し、2階ベランダで逃げ遅れた男性を救助したものです。



▶富谷亮さん(写真中央)と小梨和之さん(写真右)



▶(写真左から)三品貴史さん、千田杜志也さん、大沼竜也さん、佐藤正春さん、増田一記さん、田澤義明さん

## 台風10号に伴う岩手県への 緊急消防援助隊派遣

大型で非常に強い台風10号は、8月30日午後6時前に岩手県大船渡市付近に上陸しました。

この台風は、気象庁が昭和26年から統計を取り始めて以来初めて東北地方の太平洋側に上陸した台風となり、岩手県にとっても大きな被害をもたらしました。

岩手県知事は、被害規模が甚大であると判断し、総務省消防庁へ緊急消防援助隊の派遣要請を行い、消防庁長官から出動の要請を受けた宮城県は、航空部隊及び県内12消防本部(局)から陸上部隊を集結させ、岩手県岩泉町への派遣を実施しました。

仙南消防本部では宮城県隊の一員として、8月31日から9月9日まで、延べ9隊37人の隊員を派遣し、人命検索及び住人の安否確認を行いました。

10月28日に就航した宮城県ドクターヘリは、医療機器などが装備された救急医療用のヘリコプターで、医師などの医療スタッフが搭乗するものです。消防機関の要請により出動し、救急現場付近の臨時離着陸場(ランデブーポイント)で救急隊と接触し、傷病者の観察及び処置を実施、傷病者の状況に応じてヘリコプターで医療機関へ搬送します。

救急隊員の救命処置と合わせ、ヘリコプターに搭乗した医療スタッフが早期に治療を始められることから、傷病者の救命率向上や後遺症軽減などの効果が期待されます。



◀捜索活動の様子



## ドクターヘリと連携し 救命率の向上を目指します！